

『この星の忘れられない本屋の話』 ポプラ社
ヘンリー・ヒッチングズ／編 浅尾 敦則／訳

イギリス・ウクライナ・コロンビア・ドイツ・中国など世界各地の作家15人が、自身の思い出深い本屋についてつづったエッセイ集。

幼少期の本との出会いから現在までを幻想的に語るもの、ユーモアを交えながら都市と書店を語るもの、反政府デモ直前のサイン会からデモ当日の様子を臨場感をもって語るものなど、語り口もさまざまに書店と本の魅力を描く。



子どもの頃、本を自由に手に取れなかった著者もいる。書店が取り扱う内容から社会情勢の変化が垣間見えることもある。個性あふれる書店とともに、各地での生活や歴史、書店の未来にまで思いをはせられる一冊。